



大橋 博之 議員

- 1、総合型地域スポーツクラブの設立手法は
- 2、アクティブシニア応援ポイント事業を検討せよ

Q 健康寿命の延伸のためには各年代対象のスポーツの充実に加え市民が手軽に参加可能な軽スポーツ等の充実が図れる総合型地域スポーツクラブの設立が有効である。今後スポーツ活動だけでなく健康推進や保健福祉分野と連携しながら設立を目指すべきと考えるが現状では具体

A 総合型地域スポーツクラブの設立は、具体的な設立方針や取り組み手法が明確に示されていないので所信を伺う。

Q 市の設立についてはNPO法人東松島体育協会との連携により本市に合ったクラブの設立を目指し、初めは無理なくできるところから進めて行きたいと考えている。今後の設立の手法としては始めに地域

スポーツ指導者やスポーツ関係者などによる準備委員会を本年度中に設置し活動拠点施設となる市民体育館・鷹来の森運動公園などの施設を中心に子どもからシニア層をターゲットとした形でのクラブづくりを体育協会・スポーツ少年団・スポーツ愛好団体等を中心として検討する。

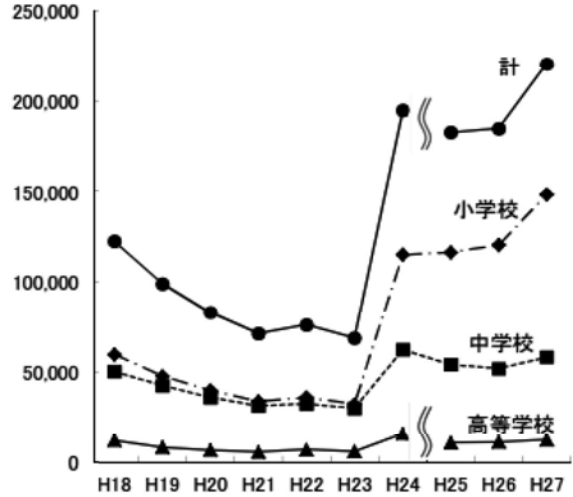


▲新しいスポーツの楽しみ方

総合型地域スポーツクラブ設立へ

A 設立を目指し取り組む

(件) いじめの認知(発生)件数の推移



▲過去最多となったいじめの認知件数 (文部科学省 資料)



阿部としゑ 議員

- 1、学校現場を問う
- 2、女性の防災力向上を問う

学校現場を問う

A 危機感を持ち情報収集し、対策する

Q いじめを広く捉えるよう国が学校に促した結果、過去最多の22万件になった。全国各地で、学校や教育委員会が被害を把握しながらも、いじめとの向き合い方に深刻な温度差がある。本市のいじめの現状は。

A 「交流と学び」研修会で、豊かな学び合いで優しさが自然と子どもたち

の心に作られることを学んだが、今後保護者や先生方への開催の計画は。コミュニティスクール導入には学校、地域の不安があるが、どのように指導していくのか。

Q 市の現状は、103件、中学22件であり現在3件解消されていない。常に危機感を持つ

て情報収集と対策に当たる。

公開授業研修会も計画されており、学校の教員・家庭・地域ぐるみで学力向上する場として研修会の情報を提供していく。地域と学校が協力しながら子どもを育てる学校づくりを目指し、コミュニティスクールづくりを進めていく。